

第4回 にぎわい拠点整備WGの開催結果	
日 時	平成24年11月14日(水) 10:00~12:00
場 所	亀岡市役所 3階 302・303会議室
出席者	<p>京都市立芸術大学 教授 藤本 英子 グループ長 亀岡市観光協会 事務局長 栗山 健 副グループ長 亀岡商工会議所 観光委員長 奥村 邦夫 保津川遊船企業組合 代表理事 工藤 正 公益財団法人亀岡市体育協会 会長 關本 卓男 公益財団法人亀岡市体育協会 専務理事 山田 百十 公募委員 細川 武 亀岡ライオンズクラブ 会長 中川 修 (オブザーバー) (欠席8名)</p> <p>亀岡市観光戦略課 増田主幹 " 土木管理課 橋本課長 " 桂川・道路整備課 並河課長、関口係長、竹村主査</p> <p>京都府南丹土木事務所 河川砂防室 星野室長、井尻副室長、中主査、神原副主査 (欠席1名)</p> <p>(順不同、敬称略)</p>
内 容 (次第)	<p>1) 開 会 2) 議 事 ○前回の振り返り ○ふれあいかわまちづくりWG、水端かわまちづくりWGの検討状況 ○さくら広場の植栽計画について ○山本浜の再生について ○その他 3) 閉 会</p>
結 果	<p>○さくら広場のシンボルツリーは次回WGでカツラ、モミジ、シダレザクラ等から決定する。 ○今回のワークショップで出た意見をもとに山本浜の整備計画の検討を進める。</p> <p>(主な意見)</p> <p>【さくら広場の植栽計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カツラの木は川辺に適した木で葉もきれいな形をしているので、調べてほしい ・秋の観光シーズンを考えるとモミジもあってほしい <p>【山本浜の再生について】 (ワークショップによる意見交換)</p> <p><ハード整備の方向性></p> <p>(自然な設え)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を保全していく方向で整備する ・何も作らずに広場だけとしてもいいのではないか <p>(親水性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラフティングや水辺の遊び場など親水性のある整備が必要ではないか ・支流の水辺で楽しめるような整備がいいのではないか <p>(玄関口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保津峡、亀岡市の玄関口としての設えが必要ではないか ・電車からの眺望を確保してはどうか

(歴史性)

- ・山本浜の歴史を説明した看板を設置してはどうか
- ・ラフティングなどのにぎわいを活用した現代版の山本浜として再生してほしい

(多目的利用)

- ・ラフティングや保津川下りの拠点となる船着場（川港）にしてはどうか
- ・眺望のためのベンチや斜面などをつくり、多目的に利用できる場がよいのではないか
- ・平地を利用してバーベキュースペース、ドッグラン、子供広場などを整備
- ・雨宿りする、日向ぼっこをする、弁当を食べる、舟で遊ぶ、人を見送る、川の音を聞くなどの利用ができるのではないか

<ソフトの取り組み>

- ・川を楽しむイベント、地元食の祭典、こいのぼり、筏流し、ライトアップイベント、朝市などのイベントを行う場としてはどうか
- ・イベントを受け入れる仕組みが必要ではないか
- ・市民参画の仕組みが必要ではないか
- ・保津川下りやトロッコ列車などの観光との連携が必要ではないか
- ・映画のロケ地として活用できるのではないか
- ・情報発信の拠点となるような仕組みが必要ではないか

